

新潟県村上市及び胎内市沖における協議会（第4回）

○日時

令和6年11月7日（木）9時30分～11時30分

○場所

胎内市産業文化会館 多目的ホール
（一部の構成員はWEB会議形式にて参加）

○参加者（※WEB参加者）

（構成員）

経済産業省 資源エネルギー庁	
新エネルギー課 風力政策室 室長	古川 雄一
国土交通省港湾局	
海洋・環境課 海洋利用調査センター 所長	佐渡 英樹
農林水産省 水産庁	
資源管理部 管理調整課 計画官	森田 浩史※
新潟県 産業労働部	
創業・イノベーション推進課 課長	川島 俊哉
村上市 市長	高橋 邦芳
胎内市 市長	井畑 明彦
新潟漁業協同組合 代表理事組合長	土屋 貞男
新潟漁業協同組合 岩船港支所支部長	脇坂 三重城
新潟漁業協同組合 北蒲原支所支部長	野澤 晴東
一般社団法人 新潟県さけます増殖協会 会長理事	村山 賢二
三面川鮭産業協同組合 代表理事組合長	佐藤 克雄
荒川漁業協同組合 副組合長	須貝 正春
胎内川漁業協同組合 代表理事組合長	加藤 武
日本海洋石油資源開発株式会社	
新潟鉱業所 総務部長	加藤 誠
粟島汽船株式会社 取締役	野崎 直行
岩船港利用促進協議会 会長	竹内 一男
日本内航海運組合総連合会 海務部長	逸見 幸利※
東京大学 名誉教授	荒川 忠一
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	

センター長・教授	宮下 和士※
村上胎内洋上風力コンソーシアム	
代表企業三井物産株式会社 プロジェクト本部	
国内プロジェクト開発部 次長	前田 益尚
(欠席：コメント代読)	
一般財団法人 日本エネルギー経済研究所 理事	工藤 拓毅
長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻	
准教授	犬飼 直之
(オブザーバー)	
環境省 大臣官房 環境影響評価課	
環境影響審査室 室長補佐	鈴木 祐介※
公益財団法人 海洋生物環境研究所	
中央研究所 所長代理	三浦 雅大※
新潟海上保安部 交通課 課長	行方 隆夫

○議題

(1) 本協議会の運営について

- 経済産業省（事務局）より、資料3（新潟県村上市沖及び胎内市沖における協議会運営規程の改正案）を説明。
- 構成員による推挙により、座長を東京大学荒川構成員、副座長を北海道大学宮下構成員と選任された。
- 協議会運営規程について、案の通り承認された。
- 協議会の公開の方法について、議事要旨及び議事録の公表及び一般傍聴や報道関係者の傍聴を認めることを前提に、次回以降の協議会はYoutubeによる配信は行わないことについて承認された。

北海道大学 *途中退席につき、先立って挨拶・意見

- 漁業影響調査について、地元の意見・要望や影響有無を科学的に評価し、環境影響と洋上風力影響との切り分けができる体制を作り、事業を進めていただければと考えている。

(2) 事務局及び選定事業者説明

- 経済産業省（事務局）より、資料4（新潟県村上市及び胎内市沖におけるこれまでの経緯と今後のプロセス）を説明。
- 村上胎内洋上風力コンソーシアムより、資料5（新潟県村上市及び胎内市沖洋上風力発電事業概要説明）を説明。

村上市

- 事業者において、協議会意見とりまとめ等これまでの検討内容について丁寧に対応いただき、改めて感謝したい。
- 漁業影響調査について、実務者会議における議論を経て具体的な調査内容を設計し、決定する方針とのことだが（資料5・13頁）、法定協議会と実務者会議とのパワーバランス、制度設計の案が現時点であるのか、次回提案があるのか、確認したい。
- 事業に関する説明について、「事業説明会を開催し、詳細な事業計画について丁寧に説明」と記載があるが（資料5・16頁）、協議会における利害関係者のみならず、不特定多数の市民も対象として想定しているのか。
- 首都圏における村上市・胎内市の特産品のプロモーションの実施（資料5・24頁）について感謝する。首都圏に加え、日本全国・世界に向けての発信も視野に入れていただきたい。

胎内市

- 地球温暖化対策としての再生可能エネルギーの利活用を推進するため、洋上風力発電事業を積極的に推進していく必要がある。本事業はリーディングケースとしての意義が極めて大きいため、地域振興、出捐金・基金等の個別論点について丁寧な議論をすることにより、総論として、本事業を着実に前進させていくことが望ましい。

新潟漁業協同組合

- 国・コンソーシアムから、今後の進め方についてスケジュール感を持って説明いただき、着々と進んでいく印象を持った。海面の漁業関係者として、本事業についてできる範囲で協力していきたい。
- 既に事業者の調査への監視船業務等で協力しており、今後も何らかの形で建設に関する協力ができればと思っている。
- 懸念として、18メガワットの洋上風力発電設備38基が海上に設置されることに対する漁業影響調査について、具体的にいつ頃からどういう形で進めていくのか確認したい。可能な限り早期に

実施していただきたい。

新潟漁業協同組合（岩船港支所）

- 実務者会議がより良いものになるようお願いしたい。

新潟漁業協同組合（北蒲原支所）

- 留意事項等色々説明いただき、感謝する。30年間の洋上風力の発展には、漁業者への丁寧な説明や住民との信頼関係の構築が不可欠であり、その点に留意しながら、我々としても協力していきたい。
- 住民の安全・安心が最重要であると思うため、丁寧な説明、十分な情報提供により、長期の共存共栄につなげたい。

新潟県さけます増殖協会

- サケ、マス、アユ等の淡水魚は上中流域を中心的な産卵場所としており、その増殖のために人工増殖を行っているが、下流域・海面に特化しない、上中流域に対する具体的な対応についてお聞きしたい。
- 地域貢献施策について（資料5・21頁）、村上市・胎内市に限定されることが決まっているのか。新潟県の増殖協会という立場から、上中流域にも、何らかのソフト面の対応があってもいいのではと考える。

三面鮭産漁業協同組合

- 事業者による事業計画案概要説明はこれまでの議論の集大成だと理解しており、事業者の取組に感謝する。
- 事業計画をさらに発展・充実させるために、いかに地域貢献ができるか、いかに将来の子供達に残す教育の場として具現化していくかが課題になるものと認識している。
- 小中学校の出前授業について（資料5・23頁）、三面鮭産漁業協同組合では10年前から取り組んでいるが、各校それぞれのカリキュラムをし、副読本を用意する等して進めていただければ十分実現可能だと考える。
- 地域住民に対して洋上風力を説明する手段として、胎内市・村上市内の観光施設の一部に洋上風力サイエンスセンターを設置してはどうかと提言したい。市民の目に触れる展示をすることで、洋上風力の理解度を深める場所として検討し、環境問題と地域貢献の2

つの課題が少しでもクリアできるよう、漁業関係者としても協力していきたい。

荒川漁業協同組合

- 協議会構成員に加えていただいたことに感謝する。近年、高齢化や漁獲量の減少など衰退傾向にあるが、洋上風力発電が組合再建に貢献するのではないかと期待している。
- 各人がそれぞれの立場を超えてベストを尽くすことで、プロジェクトの成功につながるものと思っている。事業者が事業計画に込めた理想を実現できるよう、関係者全員で良いプロジェクトにしていきたい。

胎内川漁業協同組合

- 概要説明に対して異議はない。

日本海洋石油資源開発株式会社

- 促進区域内で長年、日本で唯一の海上油ガス田の操業を行っており、24時間365日、従業員が交代勤務をしており、週に3、4回、人を輸送している。工事による従業員やヘリ航路への影響について、引き続き協議を行うことで、洋上風力事業との共存共栄につなげたい。

粟島汽船株式会社

- 洋上風力事業が定期航路事業に特別干渉・支障を及ぼすところはなく、むしろ、地域振興による船も利用客が増えるのではないかと期待している。事業の成功を祈念し、今後ともよろしく願いたい。

岩船港利用促進協議会

- 風車施工について（資料5・5頁）、想定する18メガワット機の開発が若干遅れているとの説明があったが、計画通り対応できる方向性なのか、あるいは1基あたりの出力が下がり、基数が増える可能性もあるのかについて教えてほしい。
- 岩船港のO&M港としての位置づけに非常に期待している。今後のタイムスケジュール、CTVの接岸場所等、岩船港の利活用についても情報発信をしていただきたい。

日本内航海運組合総連合会

- 岩船港を入出港する船舶の通行路における安全航行の確保（資料 5・14 頁）について、同 7 頁の建設スケジュールには、航行安全委員会の記載がないが、スケジュール、参加メンバーについて教えていただきたい。
- 資料に船舶の団体と事前に協議する旨記載があり（資料 5・17 頁）、このこと自体は有り難い一方、同 14 頁の③で「離隔距離を、2D を確保する」という記載がある。これは風車等の倒壊距離、後方乱流を考慮したものだと思うが、本来航行安全委員会で確認し、最終決定されるものではないか。既に 2D という記載があることについて、どのような状況なのか教えていただきたい。

一般財団法人日本エネルギー経済研究所 * 欠席につき事務局が代読

- 議題 1 について、新潟県村上市及び胎内市における協議会規程の改正案に異論はない。
- 議題 2 について、事業実施体制として国内事業者を中心に選定を進めていることを、日本国内におけるサプライチェーンの構築充実化に加え地元経済への貢献という観点からも、歓迎したい。
- 事業者において、協議会意見に基づいた対応を着実に実行し、地域振興や漁業振興について、事業者の持つチャネルやノウハウも活用しながら創意工夫をしていただくことを期待する。
- 事業実施に向けて重要なことは、長期間にわたって事業が持続的に安定的に運営されるとともに、地域経済や社会の発展に継続的に貢献することのバランスを保つことだと考える。協議会参加者を含めた、現地の関係者と事業者との継続的で建設的、そして柔軟な協議を通じて成功裏に事業が進むことを祈念する。

長岡技術科学大学 * 欠席につき事務局が代読

- 村上市・胎内市の小中学校への出前授業の実施（資料 5・23 頁）について、洋上風力に対しての理解促進を図る観点から、大変良い取組である。一方で村上市・胎内市は、新潟市をはじめとした周辺の市町村など、領域の外から人が集まるエリアとなっており、村上市・胎内市に限定せず、広い範囲での啓発教育をお願いしたい。

村上胎内洋上風力コンソーシアム

- 皆様から大変ポジティブなコメントをいただき、感謝する。
- 村上市長からのご質問4点について、1点目の事業会社の設立時期は、来月の頭、12月ごろを想定している。
- 2点目の実務者会議の内容、法定協議会と実務者会議のバランスについて、事業者としては、例えば漁業影響調査について、まず実務者会議において調査内容やタイミング等を議論し、その結果を法定協議会に報告する位置づけと考えている。
- 3点目の、事業説明会の対象者（資料5・16頁）について、新潟県・村上市・胎内市と相談し、対象者を決めたいうえで進めていければと考えている。目先では、来年着工予定の陸上工事に先立って、陸上工事にハイライトした事業説明会を開催する方向で、新潟県・村上市・胎内市と現在調整している。
- 4点目の地元海産物のPRについて、首都圏のみならず全国、海外についても、是非検討させていただきたい。
- 新潟漁業協同組合からの、漁業影響調査の進め方に関する質問については、27年6月から開始予定の海上工事の前に1年間調査をするため、遅くとも26年半ばに開始する必要がある。それに先立ち、法定協議会終了後速やかに、漁業関係者と対象区域や内容に関する相談をしたい。
- 北蒲原支所から、漁業関係者への丁寧な説明をお願いしたいとのコメントに対しては、現在よくコミュニケーションをとらせていただいていることに感謝しており、今後工事が本格化していくに従い、今まで以上に密なコミュニケーションをとらせていただければと考えているので、よろしくお願いしたい。
- 新潟県さけます増殖協会からの質問について、1点目のサケ、マス、アユの産卵場所である上中流域への対応については、漁業影響調査の対象範囲・時期を改めて関係者に速やかに相談したいと考えている。
- 2点目の上中流地域も含めた地域貢献施策については、具体的に協議を進める枠組みについて、改めて相談させていただきたい。
- 三面鮭産漁業協同組合からの質問・意見について、1点目の地域貢献策の具現化については、地域貢献の具体策及び協議の枠組みについて、改めて相談させていただきたい。
- 2点目の出前授業を進めるにあたっての条件・制約面については、村上市・胎内市はじめ関係者と相談し、進めていきたい。
- 3点目の洋上風力の認知度向上のための両市役所へのセンター設

置については、事業者としても何らかの形で実現したいと考えているので、村上市・胎内市等と相談したい。

- 荒川漁業協同組合からの、事業の円滑な進展と地域の発展を両立していくために、それぞれの立場を超えて何ができるのか、真摯に考えていくべき、とのコメントについて、是非そう進めていきたいと考えているので、今後とも、よく相談・協議させていただきたい。
- 日本海洋石油資源開発株式会社からの要請については、今後着工のタイミングや具体的な進め方等、前広に相談したい。
- 岩船港利用促進協議会からの質問について、1点目の設備出力（資料5・5頁）に関しては、現状、18メガワット、基数38基で変更はない。但し、一部開発が遅延しているため、変更の可能性がある場合は改めて説明させていただきたい。
- 2点目の岩船港の利用促進、CTVの接岸場所等については、操業の拠点港として岩船港の活用を想定しているため、今後スケジュールを踏まえて相談したい。
- 日本内航海運組合総連合会からの質問について、1点目の航行安全委員会のスケジュール、参加メンバーに関しては、建設の計画が最終的に確定したタイミングで速やかに開催したいと考えており、参加メンバーについては、過去2回の航行安全委員会の参加者を中心に考えている。
- 2点目の離隔距離2Dについては、法律で定められている内容を記載しているが、ご指摘いただいたように、その内容を踏まえて、航行安全委員会の中で、どう進めていくか改めて報告・相談させていただきたい。
- 一般財団法人日本エネルギー経済研究所からのコメントについて、今後事業者としても創意工夫しながらも、地域貢献策に関しては地域の関係者と具体的な協議を進める枠組みを今後検討し、そうした枠組みを通じて進めてまいりたい。
- 長岡技術科学大学からのコメントについて、小中学校向け出前授業の対象は、まずは村上市・胎内市の小中学校でと考えているが、指摘を踏まえて今後の進め方について検討・相談したい。

経済産業省（事務局）

- 村上市からの実務者会議と法定協議会の関係性に関する質問について、促進区域指定ガイドラインでは、「協議会の下部には、必要に応じて実務者会議等を設置し、協議の円滑な進行を図ることと

する」「事業者選定後は、選定事業者も協議会、実務者会議等の構成員となり、協議会は事業の進捗報告等を通じた透明性確保の場として、毎年度1回は開催する」と記載している。

法定協議会は、関係者の調整上毎月1回等の高頻度の開催は困難と考えるため、法定協議会とは別途実務者会議を設け、実務面を相談し、その結果を法定協議会に報告し、確認することになると考えている。

- 経済産業省（事務局）より、資料6（今後の協議会の進め方（案））を説明。

新潟漁業協同組合（岩船港支所）

- 実務者会議を早期に実施することで、基金や共生策等、海面だけでなく、市町村や内水面等も含めた考えを早期にまとめていただきたい。開催頻度については例えば月に1回開くなど、行政から案を示してほしい。

村上胎内洋上風力コンソーシアム

- 実務者会議の下部組織となるような、より小さい協議体についても事業者として提案し、各協議体の中で、どういうメンバーで協議するのが効果的なのか、関係者から意見をいただきながら、進めていきたい。

村上市

- 岩船港支所の提案は絶対に必要だと考える。事業者は運転開始までのスケジュールを計画済であるが、地域貢献策、共生策、出捐金の使途等をどの会議体で誰が議論するのかを整理しないと、議論は進まないものとする。
- 実務者会議の立て付け・構成について、座長のこれまでのご知見をいただきながら、早急にイメージ化していただき、その開始時期や議論の内容、進め方等、早急に明らかにしていただきたい。

胎内市

- 漁業振興について、全国的に漁業振興のガイドライン等が定まっているわけでもないため、ある程度の時間はかかることはやむを得ないと考えるが、漁業者の意向を汲むことが最重要。市・事業者

として漁業者の意向を最大限尊重していくべきだと考えているため、御理解いただきたい。

新潟漁業協同組合

- 岩船港支所の提案や村上市・胎内市の発言を受け、漁業者の考えをある程度理解いただいていることについて感謝する。
- 新潟漁業協同組合としても漁業振興については様々に考えているため、これから具体的に提案しながら、漁業振興だけではなく、漁業振興を通じた地域、村上市・胎内市、新潟県の振興に結びつけていきたい。
- 協議の枠組みについては、新潟漁業協同組合がある程度具体的な案を持ってまず村上市・胎内市に相談に行くようなイメージを持っている。その時はまたよろしくお願いしたい。

東京大学（座長）

- スケジュールも含めて、しっかりと対応する必要があるものと考ええる。実務者会議を設置するという提案に基づき、実務者会議の中で、早急に議論するという方向でいいのではないかと考える。既存の実務者会議では漁業影響調査に関する議論を行っていたものと思うが、今後はそれ以外も対象にした実務者会議を速やかに開催することが必要かと考える。
- 実務者会議の開催は、これまでは県等事務局がリーダーシップを発揮していたと思う。今後も事務局が実務者会議の開催・議論のリーダーシップを担うのか、あるいは事業者が担うのか。進行主体について決めていただければありがたい。

経済産業省（事務局）

- 実務者会議等で、今後の議論を早期に進めたい、そのスケジュールの見通しを示してほしいとの考え・要望はもつともであり、しっかり受け止めたい。
- 実務者会議の論点は多々あると思うが、例えば基金の配分等について議論する座組はまだ定まってないものと思うため、利害関係者とも相談をしながら、早めにまず座組を決めていきたい。
- 漁業影響調査は、基金配分より早めに議論が進められると思うため、事業者の検討内容について早めに関係者と相談したい。
- 漁業振興策は、新潟漁業協同組合の考えを丁寧に聞き、早めに相談

できたらと思っている。新潟県と相談しながら、国としてもしっかり議論に貢献をしていきたい。

新潟県（事務局）

- 関係者の様々な協力について、新潟県庁を代表してあらためて感謝する。
- 事務局の中で法律・制度上の問題等は整理するが、新潟県としても今後関係者に提案をしたり、関係者から相談を受けたりと様々な対応が想定されるため、引き続き協力いただけるとありがたい。

東京大学（座長）

- 今後の協議会の進め方について、事務局案の通り承認された。
- 事務局においては、本日の議論を踏まえて、次回以降に向けた準備をお願いしたい。

以上